

和田・百草の地域史



和田・百草の地理的環境

大栗川流域沿いに市内で最も広い台地・平坦面が広がる

主要な遺跡
 和田・百草遺跡
 和田西遺跡
 新堂遺跡
 稻荷塚古墳
 臼井塚古墳
 塚っ原古墳群



※Noは市遺跡番号 ※T.N.T. = 多摩ニュータウン

1. 和田・百草地域の最初の人類

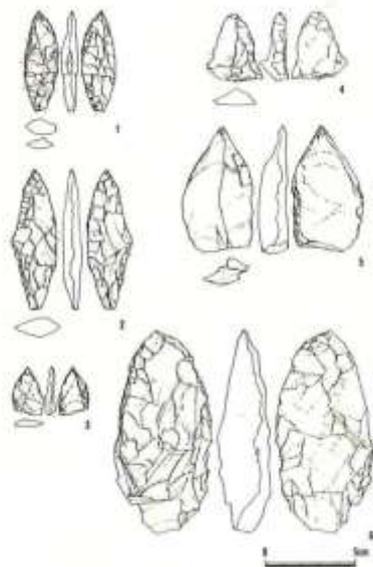
旧石器時代(約13,000年前)の石器が和田・百草遺跡から発見されている。

和田・百草遺跡から発見された旧石器

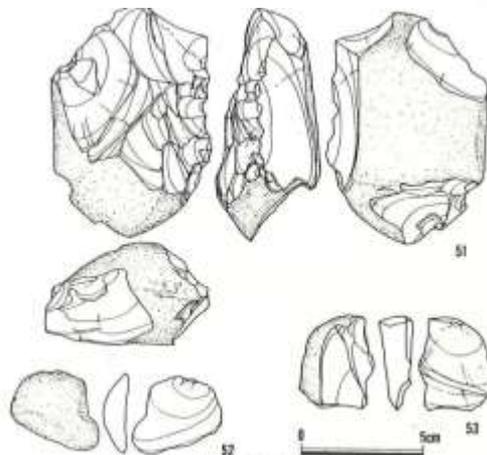
昭和53年・・・ユニット1基

昭和61年・・・石器集中分布域1ヶ所

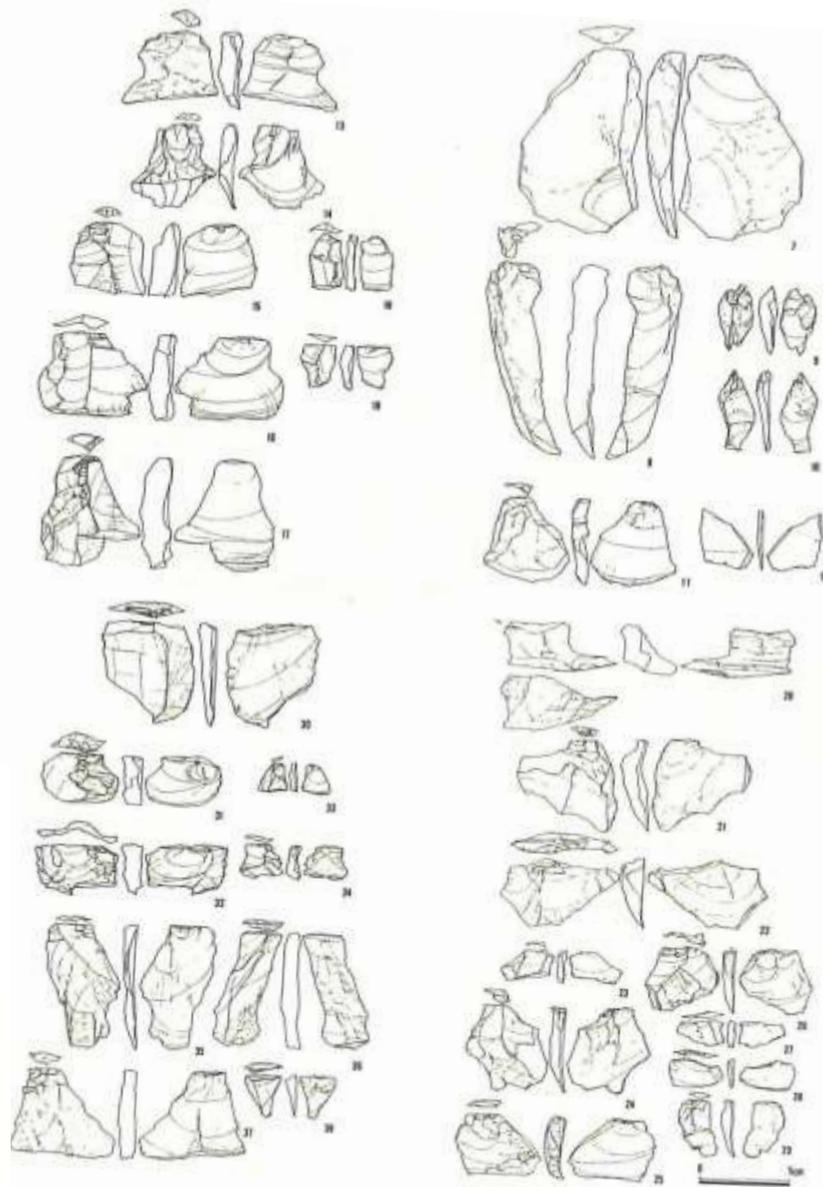
その他、礫器、黒曜石、チャートの剥片が
ローム層中や表土中から発見されている。



24. 和田・百草遺跡群出土旧石器(1)



26. 和田・百草遺跡群出土旧石器(3)



25. 和田・百草遺跡群出土旧石器(2)

2. 和田・百草地域の縄文時代

○約1万年続いた時代

草創期－早期－前期－中期－後期－晩期の6時期に分かれる。

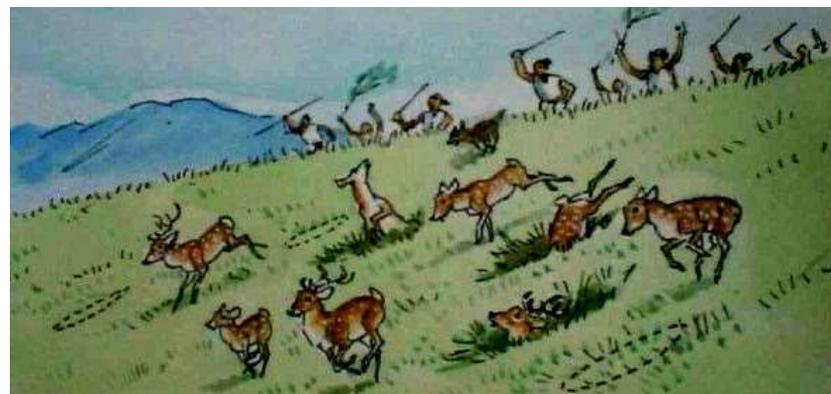
①和田・百草地域で人類の活動が見られるのは早期から

○早期(約6,000年前)・・・市内の丘陵上いたるところに陥穴(おとしあな)が作られる。

和田・百草地域でも台地縁辺などに陥穴が作られる。



和田・百草遺跡(多摩第二小学校)の陥穴



狩猟のイメージ(玉川大学HPより)



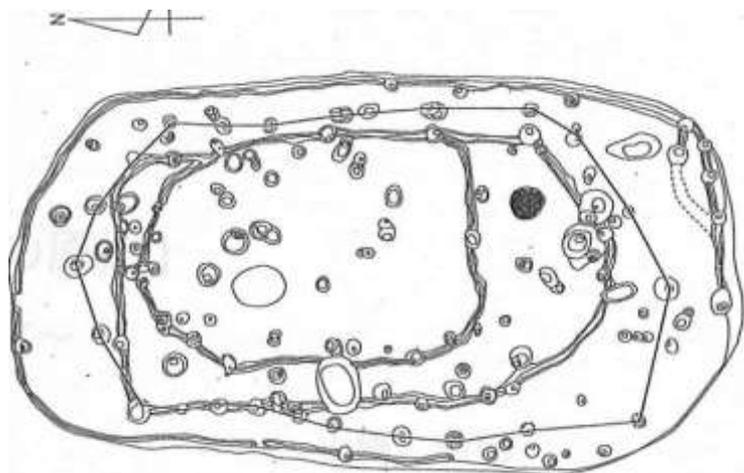
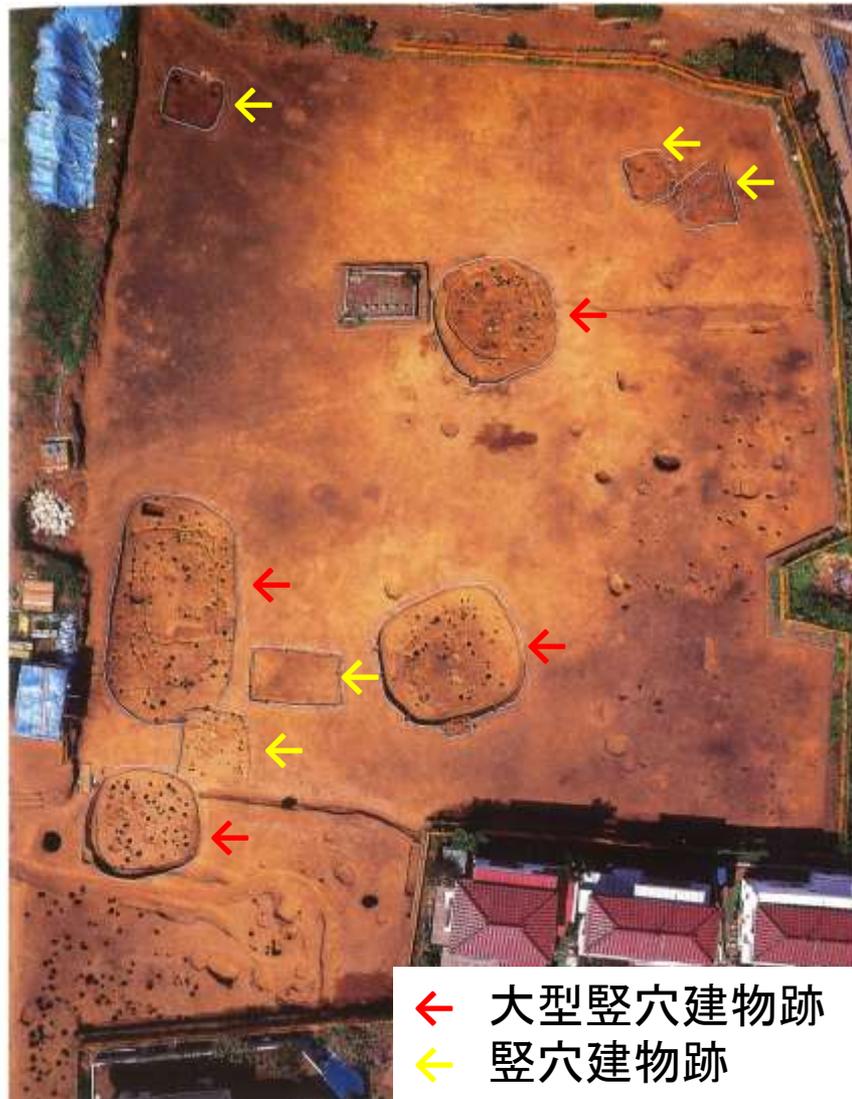
陥穴の構造
(公財)広島県
教育事業団HP
より)

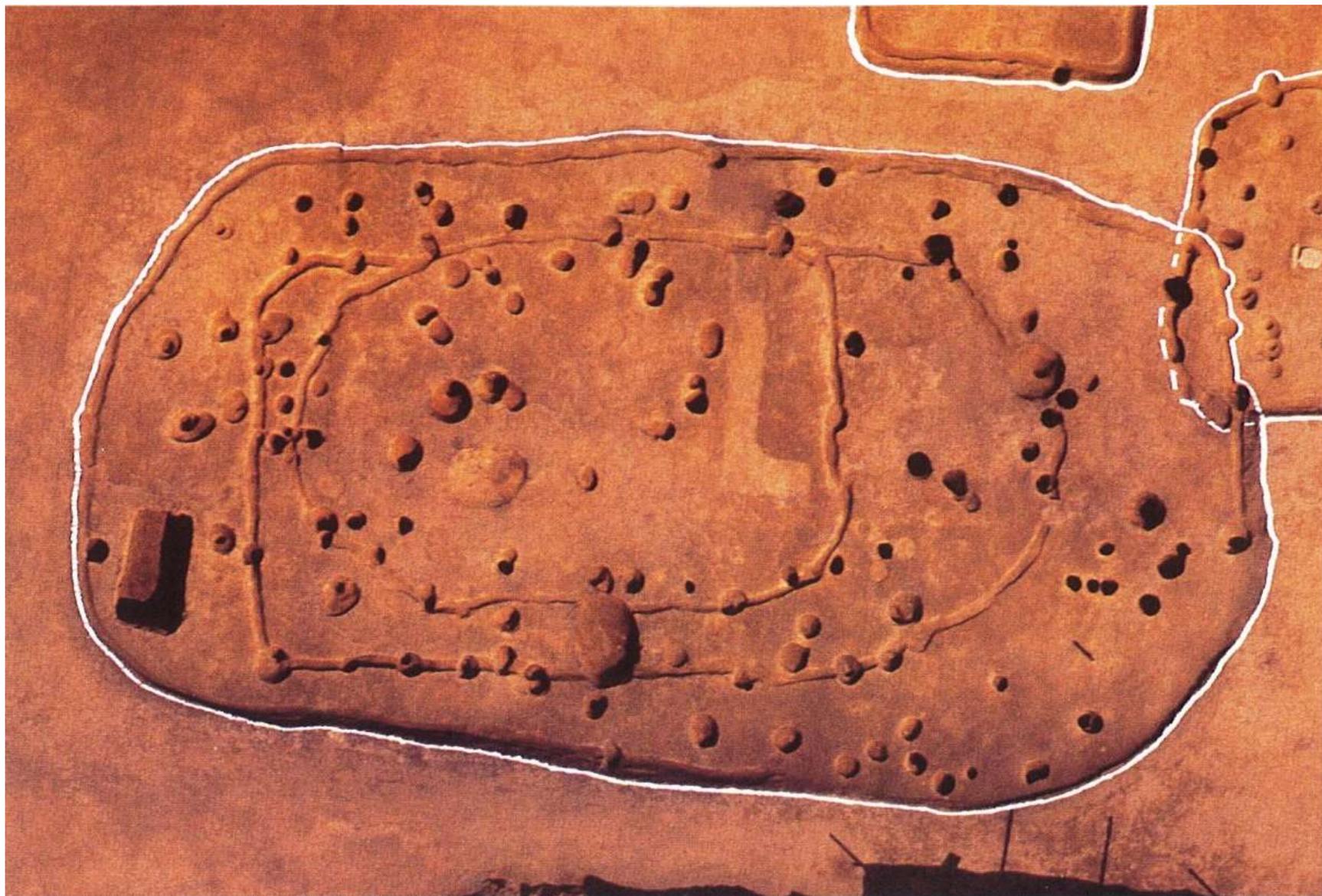
②縄文時代前期(約5,000年前)の和田・百草地域

○遺跡の急激な増加・・・市内全域で増加し、全時代を通して最も多い166遺跡

○和田・百草地域では和田西遺跡で大型建物跡が出現

- ・生活の痕跡が希薄
 - ・集落とは別の場所に単独でつくられた施設
 - ・約500年間に亘り継続的につくられた施設
 - ・多摩地域の指導的性格、地域社会の中心地の確立
- =多摩地域一円の集落から人々が集まる、コミュニティセンター的、地域社会の中心的施設=
原始の「集会所」跡





和田西遺跡の大型住居

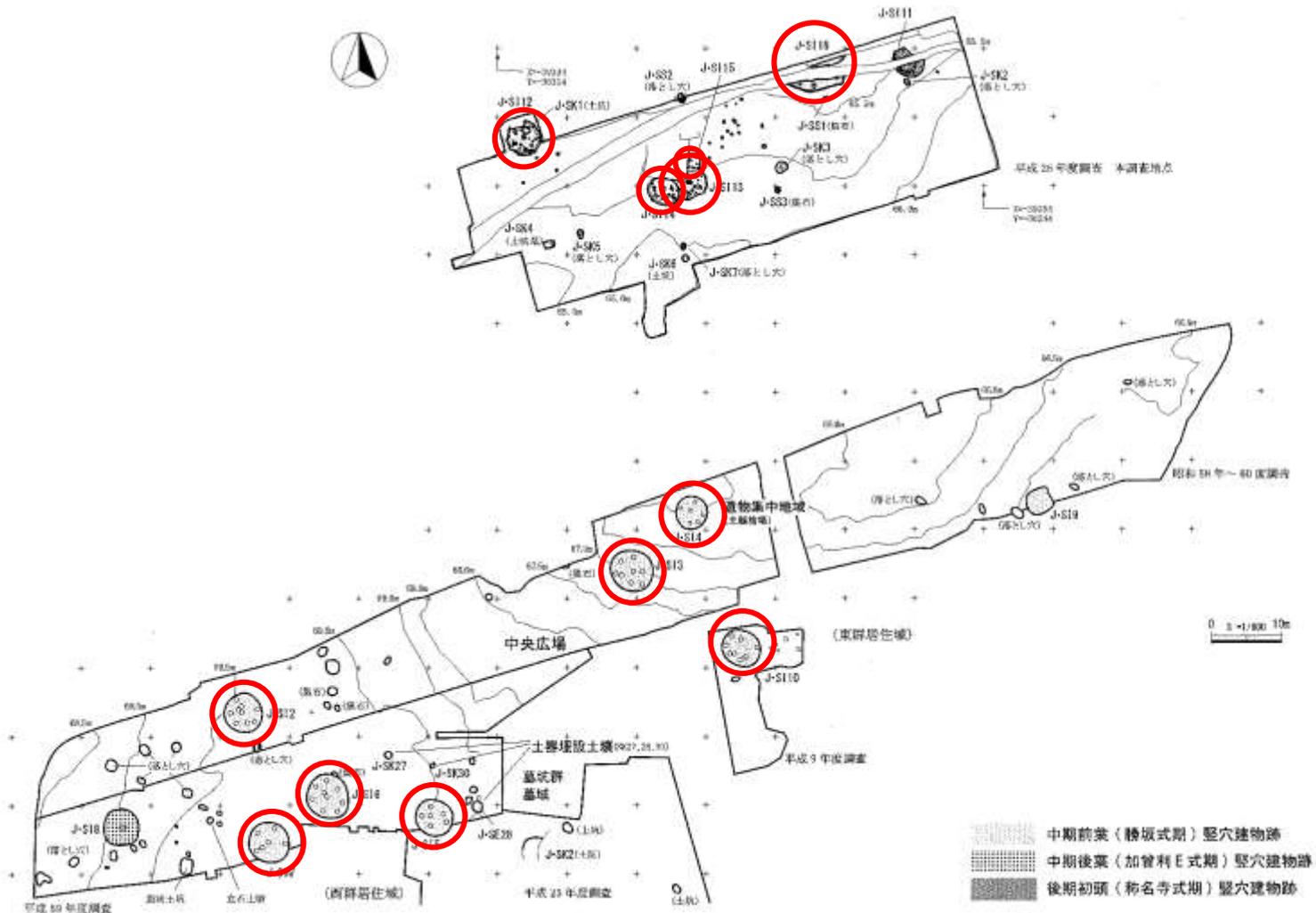


和田西遺跡の大型住居 ※人が立っているところが柱の跡

③縄文時代中期(約4,500年前)の和田・百草地域

○大規模で特徴的な拠点集落が形成される

大栗川沿いの和田・百草遺跡にも比較的大規模な集落が出現



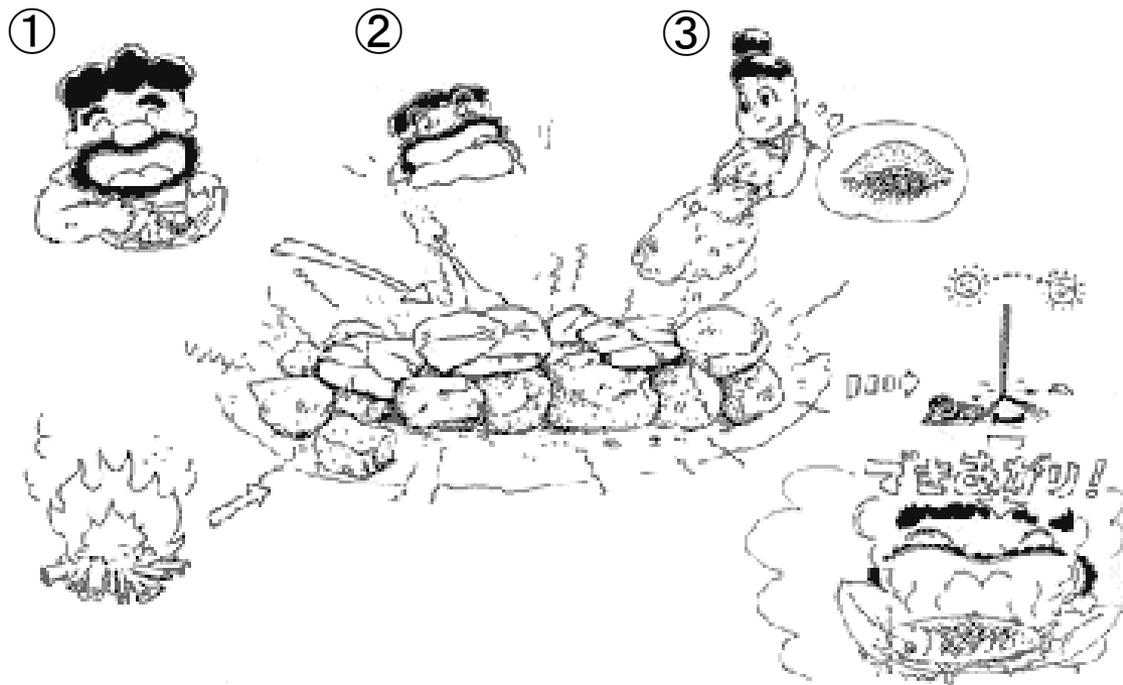
多摩第二小学校及び野猿街道拡幅で発見された中期の竪穴建物跡

○多摩第二小学校の調査で発見された中期の遺構
・集石(野外調理施設)



集石を使った調理の様子⇒

- 1 肉・魚などの食材を大きな葉でくるむ
- 2 焼けた石の中に入れる
- 3 上から土を被せる



・竪穴建物跡



あびこ電腦考古博物館HPより



炉



竪穴建物跡から発見された土器



・土坑墓

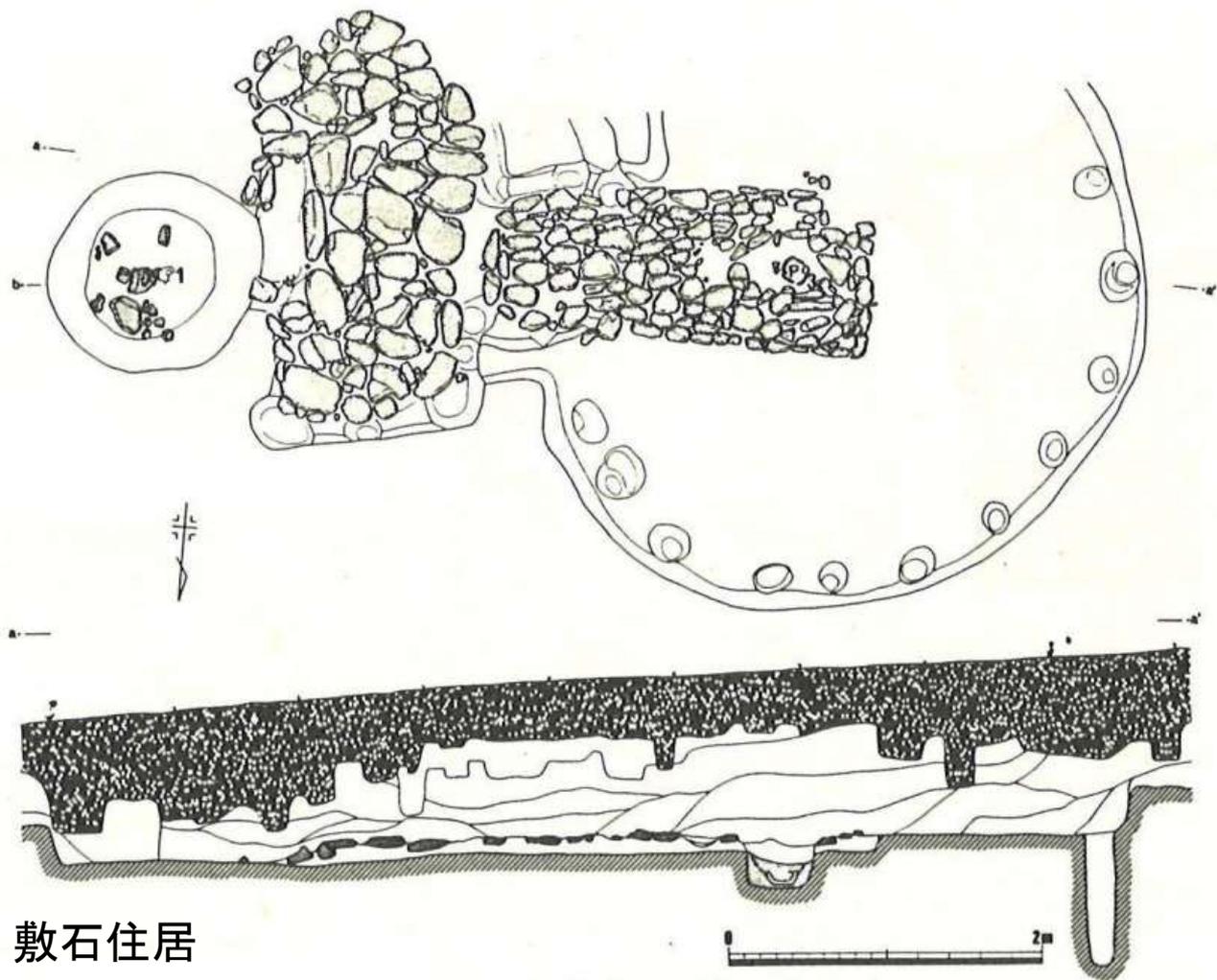


土坑墓から出土した土製耳飾

④縄文時代後期(約4,000年前)の和田・百草地域

○多摩地域全体で遺跡数の減少・・・和田・百草遺跡内でも遺構数が減少

○和田・百草遺跡に敷石住居が出現



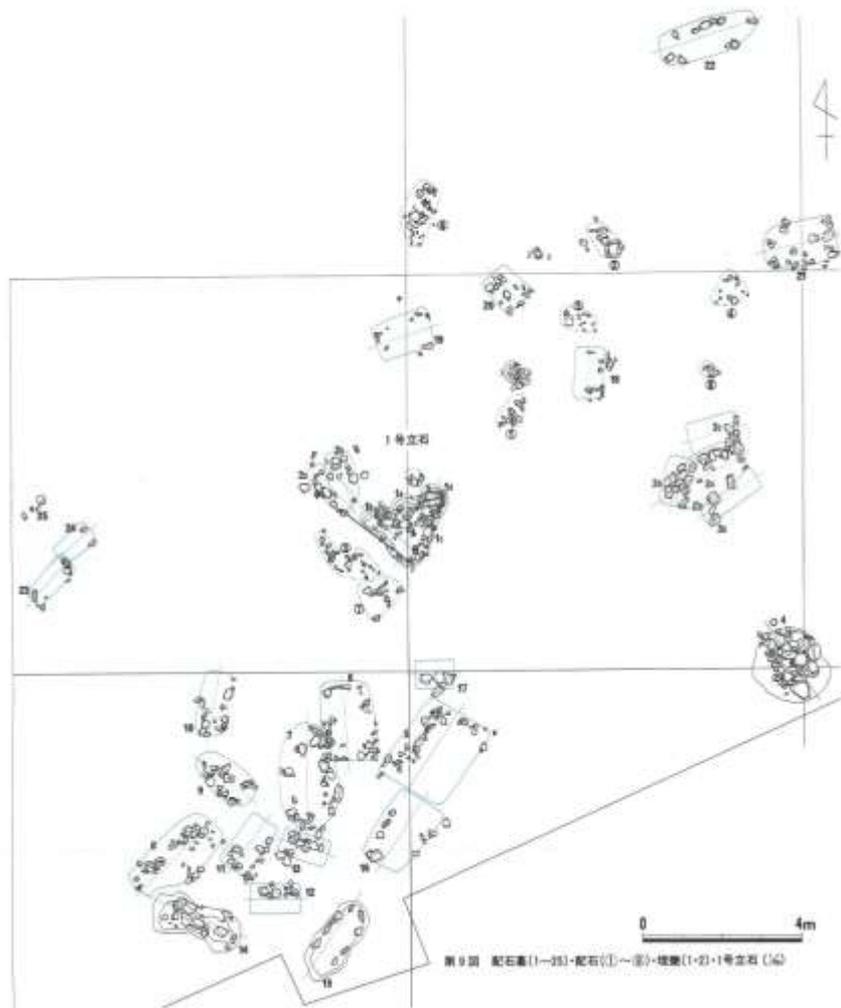
敷石住居

⑤縄文時代晩期の和田・百草地域

○後期よりもさらに遺跡数が減少・・・多摩市内でも5箇所程度

○祭祀遺構の形成・・・新堂遺跡＝珍しい晩期中頃の配石遺構・石組墓

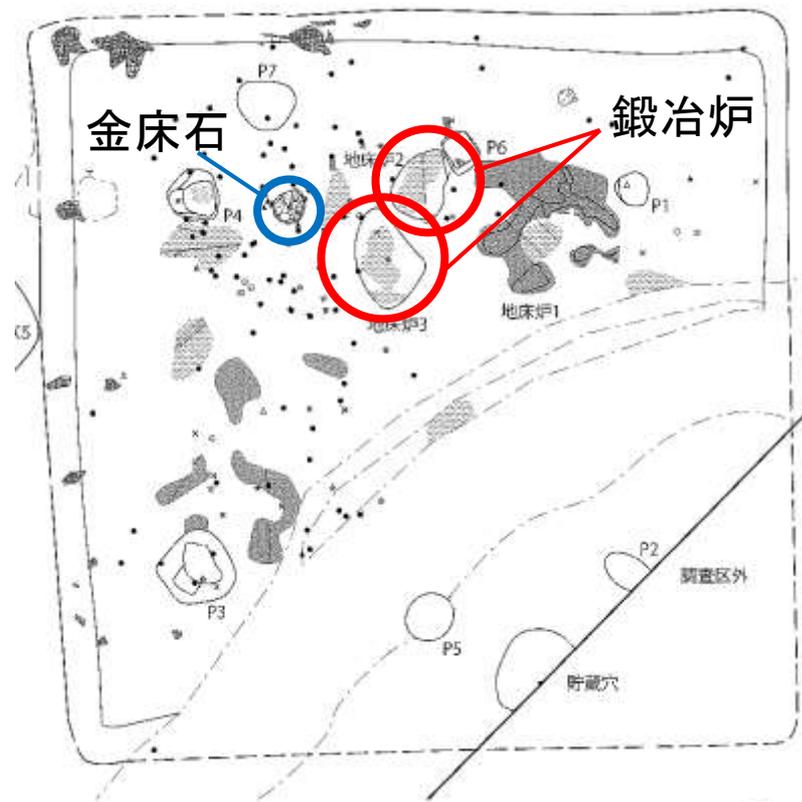
土偶、スプーン形土製品、石棒等、多種の祭祀遺物



新堂遺跡出土祭祀遺物

3. 和田・百草地域の古墳時代

①都内でも最古級(古墳時代中期)の鍛冶工房跡⇒和田・百草遺跡

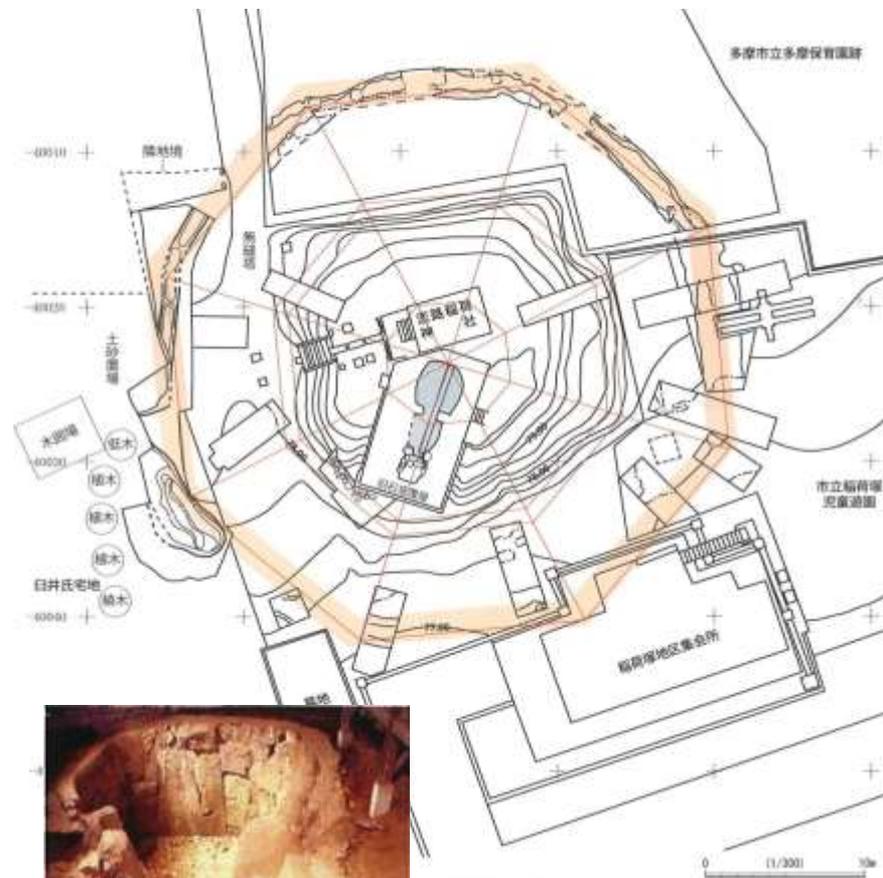


多摩市内で初の発見例
となる三種の神器⇒

②全国でも15例ほどしか発見されていない八角形墳⇒稲荷塚古墳

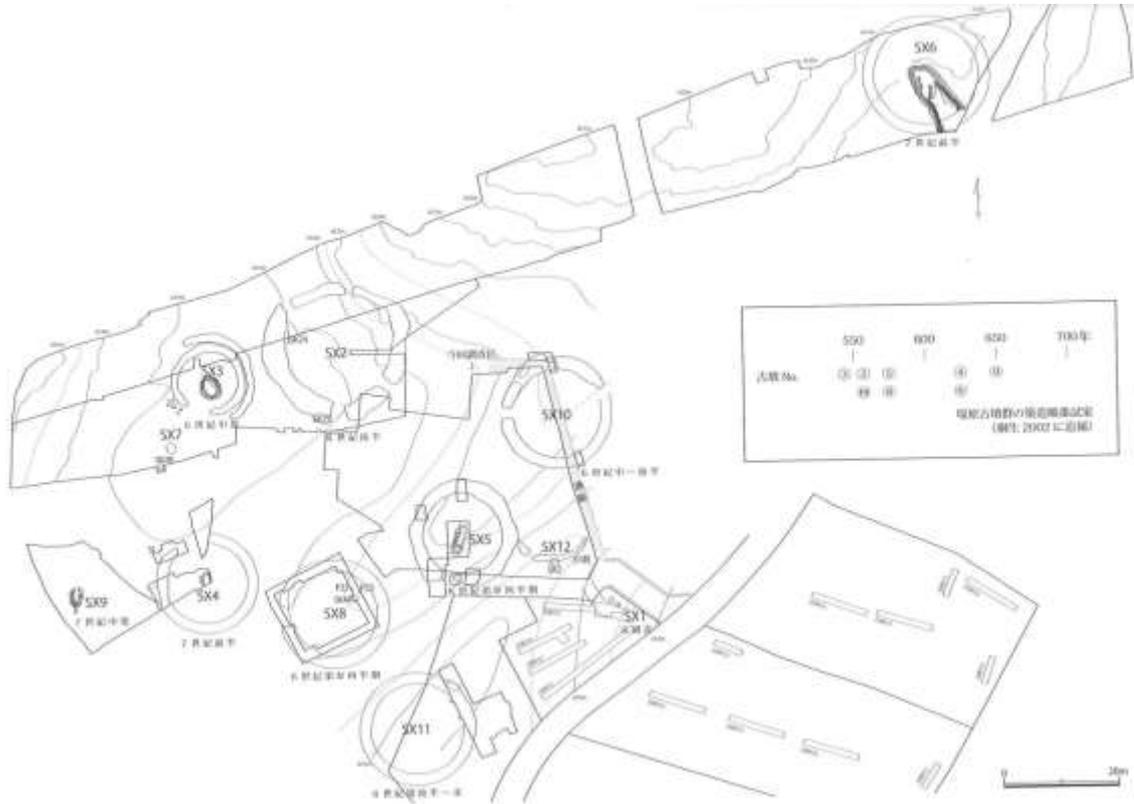


西側周溝

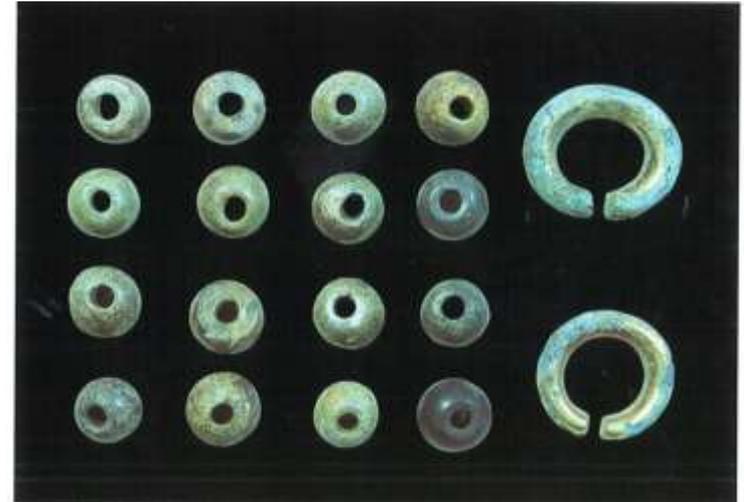


石室

③金環や鉄剣が出土⇒塚っ原古墳群



平成22年の調査



出土した玉類・金環



出土した鉄剣

4. 和田・百草地域の古代

○和田西遺跡における村落内寺院の発見

- ・4面庇(ひさし)を持つ掘立柱建物跡
- ・隣接する竪穴建物跡から仏具と考えられる合子が出土
- ・両遺構は同じ覆土を持ち同一の時代の遺構である
⇒仏堂(掘立柱建物跡)と庫裏(竪穴建物跡)と想定される



仏堂(掘立柱建物跡)

庫裏(竪穴建物跡)

合子

5. 和田・百草地域の中世

- ①和田・百草遺跡(多摩第二小学校)発見の馬の歯の骨
- ・区画溝と想定される溝から出土
 - ・溝の規模から馬の全身が入れたとは考えがたい
＝馬の頭部のみ溝に入れ込まれた。
⇒動物を用いた祭祀行為



馬の歯の骨が出土した溝



馬の歯の骨の出土状況



出土した馬の歯の骨

和田・百草地域の特色

- ①長期間にわたる人の居住＝旧石器～近代まで
- ②縄文時代には大栗川流域の拠点集落が存在
- ③多摩市内で確認されている古墳は和田・百草地区に集中



和田・百草地区は遺跡の宝庫